

広報見聞録

今年は84人が気持ちを新たに成人の仲間入り  
平成26年度「せたな町成人式」

Koho - kenbunroku



8月14日(木) せたな町民ふれあいプラザを会場に、平成26年度「せたな町成人式」が開催されました。今年は平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの対象者84人のうち69人が華やかな装いで出席しました。

式典では大関優作さん(北檜山区)と須摩優希さん(北檜山区)が成人を代表して誓いの言葉を読み上げ(表紙)、成人としての新たな気持ちを伝えました。

式典後は記念写真の撮影、そして祝賀会が行われ、懐かしい顔ぶれに思い出話や近況報告など話に華も咲き、人生一度きりの成人式を楽しんでいました。

また、式典前にはせたな町出身の北海道新聞社せたな支局長「三宮大平」氏を講師に招いた特別講演(右下写真)会が開催され、「働くこと、大人になること、取材現場で学んだこと」と題し、経験談を中心に成人の皆さんに向けてお話をしてくださいました。



特別講演会

編集後記

◎漁火まつりで今年もイカの釣堀を担当した私は、始まる前に練習をしましたが、昨年はできたにもかかわらず、なぜかうまく釣れなくて、お客さんが来るまで時間も無くかなり焦りました。困っているのと先輩たちから耳の裏を狙って釣るやういと聞き、そのとおりやってみると簡単に釣れました。本番は子どもたちにも簡単に釣らせることができ、先輩のアドバイスのおかげで楽しんでできました。(尻野)

◎地域おこし協力隊員の長尾さん(7参照)。気さくで明るい方でした。実は自分と同じ年。同じ年ながらも略歴だけだと、なかなか経歴を理解してもらえないんです。と本人が言うほどいろんな経験がされているので、話の内容も盛りだくさん。なので、かなり端折っても今回のポリニューム、ノーカーで掲載できないのが残念なくらい。バンドマンで高校野球マニアという話も面白かったんですが、詳しく紹介しきれず残念です。面白かったと言えば、成人式での三宮支局長の講演会(下記参照) 新聞社の裏側や仕組み、取材での苦労話など、広報担当として興味のある話で勉強になりました。そこで、しっかりと話を聞く成人の皆さんの姿が素晴らしい、見ていて気持ち良かったです。せたなの若者は素晴らしいですね。素晴らしい若者といえれば、全国大会・全道大会などに出席した選手たち。夢の大舞台で堂々と戦ってきました。頼もしい限りです。ほかにも各分野で活躍する子どもたち。一人でも多く全国そして世界へ飛ばしたい。町のみんなに夢を与える姿を期待しています。そんな、私たち大人も負けてられないですね。スローボールだけなら昔から得意なだけとあ…。(尾野)

